

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらい創生学園道上校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年12月 1日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・体験活動を通して、生きる力の醸成を意識している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣（手洗い・トイレ・食事・調理学習等）</li> <li>・生活スキルの向上を目指し、資質・能力に応じた支援</li> <li>・買い物学習・調理学習等、実生活につながる活動の充実</li> <li>・果樹園等での活動（草とり・収穫等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階や個別の障がいの状況に応じた目標の設定</li> <li>・体験活動を通して、自信・達成感や自己肯定感の醸成</li> </ul>
2	・多様な学習支援・運動発達支援を可能とする取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験豊かなスタッフが、個に応じた学習支援を展開する</li> <li>・学習習慣の定着を目標に、つまずき・困り感の把握手立</li> <li>・プレイルームでの、ボルタリング・スイング・バランスボール・トランポリン等、多様な運動活動等</li> <li>・教室外での運動、散歩、あいさつ、探索等、社会学習等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つまずき・困り感の克服と学習習慣へのプログラム</li> <li>・個々の発達段階に応じた学習・運動支援具の工夫等</li> <li>・多様な能力を引き出す、個別・小集団体制の工夫等</li> </ul>
3	・キャリア発達に向け、小集団支援、自己表現・自己理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団、グループ支援を編成し、遊び、学習、体験活動等</li> <li>・始まり、終わりの会で、自己を見つめ・他者を理解する</li> <li>・コミュニケーション力を図る、あいさつ、注目の励行等</li> <li>・自己の夢・目標を大切に、多様な活動・関わり方等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の生活力向上・就労意欲に繋がる個・集団づくり</li> <li>・キャリア発達に向けた、小中高校等に応じた活動内容</li> <li>・社会参加・社会資源の活用に関わる、活動等の工夫</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域社会との交流及び外部活動・連携の在り方	・交流活動の連携や社会資源の活用及び関わりが不十分	・地域の環境の把握、交流の在り方・工夫改善の推進
2	・重度の障害のある児童生徒への支援体制づくり	・集団指導中心型の支援体制であり、個別指導体制が困難	・小集団活動をもとに、支援体制の創意工夫を図る
3			